

平成 31 年度 スポーツトレーニング教育研究センター事業計画書

スポーツトレーニング教育研究センター長 山本 正 嘉

I. 年度計画・目標

1. 子どもからシニア選手までの幅広いアスリートを対象に、競技力向上に寄与できる体力・技術の評価方法とフィードバックのシステムを開発する。またその成果を、実践研究として論文化し情報発信する（アスリートドックプロジェクト）。
2. 本センターの研究協力校等と連携し、学校教育で実践可能な、体力を増進するための運動プログラムを開発する（子供貯筋プロジェクト）。

II. 事業計画（各事業の主担当者名／実施期間）

1. 研究プロジェクト

- 1) 子供～シニア選手のためのアスリートドックの実用化
 - ① 本学の各種目のアスリートを対象とした研究と実践（山本／通年で実施）
 - ② 高校生選手（鹿児島県立鹿児島南高校）を対象とした研究と実践（藤田／平成 31 年度より 3 年間）
 - ③ 高校生選手（鹿児島県立南大隅高校）を対象とした研究と実践（山本／平成 31 年度より 3 年間）
 - ④ 中学生選手（始良市立重富中学校）を対象とした研究と実践（藤田／平成 31 年度より 3 年間）
 - ⑤ ジュニア柔道選手（福岡県柔道協会）を対象とした研究と実践（藤田／通年で実施）
 - ⑥ アスリート・登山者のための低酸素トレーニングの研究と実践（山本／通年で実施）
 - ⑦ ジュニアバレーボール選手（日本バレーボール協会）を対象とした研究と実践（藤田／通年で実施）
- 2) 学校教育で実施可能な児童生徒の体力を増進するための運動プログラムの開発
 - ① 小学校（鹿屋市立花岡小学校）での研究（高井／平成 31 年度より 3 年間）
 - ② 中学校（鹿屋市立吾平中学校）での研究（高井／平成 31 年度より 3 年間）

2. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- 1) 鹿児島県と連携したスポーツ指導者への研修セミナーの開催（山本／平成 32 年 1 月）
- 2) 鹿児島国体に向けての鹿児島県内の各競技団体との連携（高井／平成 28 年度より継続）
- 3) 鹿児島国体でのコンディショニングサポート対策（藤田／平成 29 年度より継続）

3. その他

- スポーツカウンセリング室の運営（山本／通年で実施）
『スポーツトレーニング科学』21 巻の発行（2020 年（平成 32 年）3 月発刊予定）
『トレセンニューズレター』の発行（2019 年（平成 31 年）10 月発行予定）
研究協力校との連絡会議（2019 年（平成 31 年）7 月に開催予定）

III. 予算計画

スポーツトレーニング教育研究センター経費 5,130,000 円

区分	金額	算出内訳
保守修繕費	1,830,000	保守費（定期点検含む）（@915,000 円） 修繕費（機器修理）（@915,000 円）
旅費	1,095,000	研究協力校関連（@1,095,000 円）
人件費	356,000	トレセン利用促進関連（@81,000 円） カウンセリング室運営関連（@275,000 円）
消耗品費	830,000	
報酬・謝金	284,000	研究協力校関連（@284,000 円）
その他	735,000	